

## 平成28年度 麻生区市民提案型協働事業 報告書

|                        |      |
|------------------------|------|
| 菜の花でつながる人とまち           | P 1  |
| 伝承遊びで街おこし～和風つくりと凧揚げ大会～ | P 7  |
| 高齢団地の“支え合い”立ち上げ事業      | P 11 |



平成29年 2月 27日

## 事業結果報告書

（あて先）川崎市麻生区長

|     |               |
|-----|---------------|
| 団体名 | かわさきかえるプロジェクト |
|-----|---------------|

## 1 事業結果

|      |  |           |
|------|--|-----------|
| 事業名  | 菜の花でつながる人とまち   |           |
| 実施時期 | 平成28年 5月 1日 ～ 平成29年 3月 10日   |           |
| 事業費  | 予算額  | 750,300 円 |
|      | 決算額  | 443,050 円 |
| 実施結果 | <p>（具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など）</p> <p>事業実施のためのチーム会議は、毎月1回を基本に臨時会議を含め5月～2月に12回開催した。</p> <p>1. 菜の花プロジェクトによる台所から温暖化ストップとCO<sub>2</sub>削減の広報</p> <p>① 菜の花プロジェクトの活動報告会（1回）：8月30日（火）は台風の影響で延期とし、9月26日（月）に作付に関わっている団体、ボランティア、連携店舗、明治大学など、関係者が37名つどい、麻生市民館料理室で開催した。</p> <p>② 麻生区産菜種油を使用した料理教室兼資源循環セミナーの開催（2回）：親子企画「麻生産菜種油でランチをしよう！」8月2日（火）、麻生市民館料理室、親子14組、30名参加。市民向け企画「麻生産菜種油でヘルシーランチ！！」8月29日（月）、麻生市民館料理室、11名参加。</p> <p>③ フォーラムの開催：「菜の花でつながる人とまち2017」2月18日（土）、麻生区役所第1会議室で、NPO地域づくり工房より傘木宏夫氏を招いて開催、30名参加。</p> <p>2. 市民環境活動団体と連携した連続講座の開催：全5回の講座を企画・開催した。①～④は麻生市民館第1会議室、⑤は麻生市民館料理室。</p> <p>① 第1回9月30日（金）「地域資源循環・菜の花プロジェクト」（か</p> |           |

|                        |  |
|------------------------|--|
|                        | <p>わさきかえるプロジェクト) 9名</p> <p>② 第2回 10月14日(金)「自然エネルギーの普及啓発活動」(麻生区クールアース推進委員会) 12名</p> <p>③ 第3回 10月28日(金)「生ごみの有効活用・地域資源循環」(新あさお生きごみ隊・環境を考え行動する会) 14名</p> <p>④ 第4回 11月11日(金)「里山保全活動を通じた環境と文化の醸成」(里山フォーラム in 麻生) 15名</p> <p>⑤ 第5回 11月25日(金)「地域資源循環、せっけん利用推進、麻生産菜種油でケーキ作り」(グループ「せっけんの家」、かわさきかえるプロジェクト) 12名</p> <p>3. 菜の花プロジェクトパンフレットの作成：明治大学本所ゼミとの連携を作り、ゼミの学生デザインによるパンフレットを作製、3000部印刷した。秋のイベント・各種行事で配布した。企画課と協議し、イベントで使用するポスターを作成・印刷し、活用した。</p> <p>4. 資源循環アピールのためのメッセージカードを作成：2016年産菜種の収穫量が前年を下回り、新たな連携店舗を広げることができなかったが、継続して地域のパン屋で麻生産菜種油使用のクッキーを製造・販売した。地域イベントやフォーラムなどでメッセージカードをつけたクッキーを試食・販売した。</p> <p>5. ニュースレターと町内回覧</p> <p>① ニュースレターを3回発行した：6月・9月・1月</p> <p>② 町内回覧を3回実施した：7月・9月・1月</p> |
| <p>事業総括<br/>(自己評価)</p> | <p>(当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など)</p> <p>1. 菜の花プロジェクトによる台所から温暖化ストップとCO<sub>2</sub>削減の広報</p> <p>① 活動報告会を兼ねた料理講習・試食会ボランティアをはじめ関係者が集まり開催できたことで、より共感が高まり、活動の意義を理解して、連続講座・フォーラム出席や秋のイベント手伝いが増えた。</p> <p>② 親子対象の「麻生産菜種油でランチをしよう！」は定員に達して、キャンセル待ちもあった。菜の花プロジェクトを通じた資源循環を伝えるとともに、せっけん学習も行い、環境保全への理解を広げることができた。</p> <p>③ 市民向け企画「麻生産菜種油でヘルシーランチ！！」は定員までの参加を募ることができなかったが、菜の花ボランティアや次の企画への参加につながっている。</p> <p>④ 環境フォーラムでは、他都市での実践を学び、麻生区ならではの運動展開を考えることができ、また、各地で搾油されている菜種油の特</p>   |

長を知って、ご当地産の菜種油への共感を高めることができた。運動への関心の高まりからボランティアなどへの参加希望が5名あった。

## 2. 市民環境活動団体と連携した連続講座の開催

- ① 一般市民の参加が少なく、多くの市民の環境意識を高めるには至らなかったが、参加した市民からは地域の環境への関心が高まったとの感想があった。
- ② 麻生区内で活動する市民環境団体から参加があり、お互いの活動の理解につながった。
- ③ クールアース推進委員会が連続講座後の1月に市民環境団体のパネルディスカッションを行い、更に互いの運動の理解につながった。
- ④ 事業展開の可能性を探るには至らなかった。

## 3. 菜の花プロジェクトパンフレット・メッセージカードの作成

- ① 明治大学本所ゼミと菜の花プロジェクトでの連携を継続し、更に菜の花プロジェクトのパンフレットと麻生産菜種油を使った製品につけるメッセージカードを作ることができた。
- ② パンフレットは区役所廃食油回収時のほか、子育てフェスタ、区民まつり、しんゆりマルシェ、あさお市、シニアライフ講演会、里山フォーラム in 麻生等のイベントに参加・配布し、菜の花プロジェクトを広く知らせることができた。イベントでポスターを使用し、活動をアピールできた。

## 4. ニュースレターと町内回覧

- ① ニュースレターには最新の活動情報を掲載し、廃食油回収協力者や、イベント・企画参加者のうち、希望者に送付、現在約370通を発送している。また、イベントや企画で参加者に配布し、活動の状況をお知らせした。
- ② 町内回覧には企画のお知らせのほか、活動状況を報告し、かわさきかえるプロジェクトで進めている資源循環の取組を広く伝えることができた。
- ③ 企画参加のリピーターもおり、また、廃食油回収に関する問い合わせも増えている。

## 2 決算内訳

### (1) 収入

| 項目  | 決算額 (円) | 内訳 |
|-----|---------|----|
| 委託料 | 750,300 |    |
| 合 計 | 750,300 |    |

### (2) 支出

| 項目          | 決算額 (円) | 内訳  |
|-------------|---------|---|
| 謝礼金等        | 143,000 | 市民環境活動団体講座講師謝金 @10,000×5=50,000<br>フォーラム講師謝金 @48,000×1=48,000<br>明治大学など先生のコーディネート費用<br>@7,500×2h×3=45,000                             |
| 旅費・交通費      | 35,056  | スタッフ交通費 35,056  |
| 消耗品費        | 78,550  | 印刷用紙・封筒等文具 32,072<br>料理教室・報告会食材費 20,320<br>連続講座茶葉・菓子 2,606 連続講座軍手 642<br>収穫祭・フォーラム試食クッキー 16,400<br>テイスティング用リンゴ 462<br>きなりっこサンプル 6,048 |
| 印刷製本費       | 38,196  | パンフレット印刷 10,501 (3,000 枚)<br>チラシ・レター・資料等印刷費 23,170<br>ポスター印刷 4,525  |
| 通信運搬費       | 97,188  | 町内回覧・ニュースレター発送費 75,378<br>ボランティア日程調整発送費 3,690<br>その他送料 620 運搬費 16,000<br>年間電話連絡費 1,500  |
| 使用料・<br>賃借料 | 17,700  | チーム会議 500<br>料理講習・報告会室料 (4 回分) 17,200   |
| 保険料         | 3,360   | 料理実習参加者保険料  |
| その他         | 30,000  | HP 管理料  |
| 合 計         | 443,050 |   |

※項目が多い場合は行を増やすか、別の用紙（様式自由）に記載してください。

平成28年度麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

|     |                 |
|-----|-----------------|
| 団体名 | (かわさきかえるプロジェクト) |
| 事業名 | (菜の花でつながる人とまち)  |

| 視点        | 項目                                    | 判断  | 判断の主な理由  |
|-----------|---------------------------------------|---|--|
| 事業の成果について | 事業目的は達成できましたか                         | 1. 十分達成できた<br>②. ほぼ達成できた<br>3. あまり達成できなかった<br>4. 達成できなかった     | 「菜の花プロジェクト」を基本活動とし、麻生産菜種油を活用して、ボランティアをつなぎ、また料理教室やフォーラムを通じて、活動の意義を伝えることができた。<br>活動パンフレットやメッセージカードをイベント等で活用し、地域資源循環の意義を伝えることができた。<br>環境活動団体の連続講座の企画は参加者が少なかったことが課題となったが、団体間の連携の糸口が見えた。 |
|           | 事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか                | ①. 十分満足していた<br>2. ほぼ満足していた<br>3. あまり満足していなかった<br>4. 満足していなかった | 各企画の参加者アンケートから、資源循環や地産地消への理解が深まり、また「菜の花プロジェクト」が地域の人をつなぐ活動としての認知が高まった。連続講座はその後の他団体のパネルディスカッション開催につながった。   |
|           | 事業の経費は適正でしたか                          | 1. 大きな過不足なく適正に執行された<br>②. 見込みよりはるかに少なかった<br>3. 見込みよりはるかに多かった  | チーム会議等は無料の施設を使用するなど、経費の節減に努めた。パンフレット、メッセージカードは本所ゼミとの連携で作成し、デザイン料がかからなかった。また、パンフレットの印刷費が見込みより少額であった。企画課との協働で会場費を抑えることができた。  |
|           | 実施過程で問題は発生しましたか                       | 1. 問題は発生しなかった<br>②. 問題が発生したが適切に解決できた<br>3. 問題が発生し、解決できなかった    | 8月に計画・実施を予定していた活動報告会は台風の影響で中止としたが、9月に振り替えて開催することができた。  |
|           | 協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか | ①. 十分効果があった<br>2. まあまあ効果があった<br>3. あまり効果がなかった<br>4. 効果がなかった   | 市政だよりや町内回覧、麻生区ホームページで広報することにより、参加者や賛同者が増えた。公共機関での廃食油回収を継続し、各種イベントへの出展など、協働により活動を広げるこ   |

|           |  |   |   |
|-----------|--|---|---|
|           |  |   | とができ、より多くの区民に取組の意義を知らせることができた。  |
| 協働の手法について | 事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか  | ①. 十分に行った<br>2. まあまあ行った<br>3. あまり行わなかった<br>4. 行わなかった                          | 年間計画に基づき協議を行い、さらに必要に応じて協議を申し入れ、十分に認識を共有して活動を進めることができた。  |
|           | 協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか   | ①. 対等な関係になっていた<br>2. まあまあ対等な関係になっていた<br>3. あまり対等な関係でなかった<br>4. 明らかに対等な関係でなかった | 課題解決のため、一致して事業を推進できた。   |
|           | 行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか   | ①. 明確かつ適切に設定できた<br>2. 明確だったが、適切でなかった<br>3. 不明確だった                             | 適宜協議を行い、十分に調整して進めた。事業対象に損害が生じた場合の責任範囲は行事保険に加入して、経費は事業費で賄った。   |
|           | 事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか  | ①. 十分確保できた<br>2. まあまあ確保できた<br>3. あまり確保できなかった<br>4. 確保できなかった                   | 事業に関する町内回覧には事業の進捗状況など報告を掲載した。廃食用油回収協力者やイベント参加者などの協力者にはニュースレターを年間3回発行し、事業の報告を行った。2月開催のフォーラムでは年間活動報告を行った。 |
| 今後の課題     | 今年度は「菜の花プロジェクト」の展開で、地域の「人」をつなぐ事業展開を行い、地域作業所や大学、小学校、地域の農業者など、菜の花の播種を通じて関係が広がった。ボランティア参加も増え、更に環境団体がつながることで、課題を共有しながら、今後の連携が模索できる状況を作ることができた。今後は菜の花を通じて環境問題に気付き参加する人を増やしていくためにさらなる事業の展開が望まれるが、担い手不足が課題となってきた。チームメンバーとしてかかわる人を増やしていくとともに、今後もボランティア参加を呼び掛けて、ネットワークを広げていきたい。 |   |   |

平成29年3月1日

## 事業結果報告書

（あて先）川崎市麻生区長

|     |         |
|-----|---------|
| 団体名 | 新万福寺町内会 |
|-----|---------|

## 1 事業結果

|   |                                      |          |       |
|---|--------------------------------------|----------|-------|
| 事業名   | 伝承遊びで街おこし～和風つくりと風揚げ大会～               |          |       |
| 実施時期  | 平成28年5月1日～平成29年3月10日                 |          |       |
| 事業費   | 予算額                                  | 209,000円 |       |
|   | 決算額                                  | 209,000円 |       |
| 実施結果  | （具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など）          |          |       |
|   | 和風つくり指導者実技講習会 当初定員15名                |          |       |
|   | 月日                                   | 受講生      | サポーター |
|   | 11月27日                               | 23名      | 2名    |
|   | 12月4日                                | 20名      | 1名    |
|   | 講習内容                                 |          |       |
|   | 竹竿から竹ヒゴ作り、和紙に絵付け                     |          |       |
|   | 貼付け、ヒゴ切断、糸目付け、風揚げ                    |          |       |
|   | ※1.同じ内容で2回を予定したが時間的に無理と判明、2日間コースとした。 |          |       |
|   | 2.受講生23名のうち18名が各会場で体験学習の講師を務めた。      |          |       |
| 3.風づくりを継承するため、竹内澄男風名人の実技講習メモを整理、補稿して「和風つくりと風揚げ大会～実践マニュアル～」を作成した。  |                                      |          |       |
| 体験教室  |                                      |          |       |
| 月日  | 会場                                   | 定員       | 体験者   |
| 1月14日   | 万福寺会館                                | 25       | 35    |
| 1月15日   | 新万福寺町内会館                             | 16       | 17    |
| 1月21日   | 同上                                   | 16       | 9     |
| 小計  |                                      | 57       | 61    |
| 1月29日   | 百合丘小学校校庭                             |          | 33    |
| 合計  |                                      |          | 94    |
| 保護者   |                                      |          |       |
| 17  |                                      |          |       |
| 指導者   |                                      |          |       |
| 11  |                                      |          |       |
| 合計  |                                      |          |       |
| 63  |                                      |          |       |
| 32  |                                      |          |       |
| 21  |                                      |          |       |
| 116   |                                      |          |       |
| 73  |                                      |          |       |
| 189   |                                      |          |       |
| 事前に白和紙を配布、絵付して作業日に持参。当日は組立、貼付け、糸目付け、尾っぽ付け作業。1月29日は手作り風を持ち寄り風揚げ大会。 |                                      |          |       |
| ※1.1月21日はインフルエンザ等で欠席者が出た。   |                                      |          |       |
| 2.竹ヒゴ作りからのコース希望者は1名のみであった。  |                                      |          |       |
| 3.体験者、保護者の人数は受付名簿にサインされた人の数。                                      |                                      |          |       |

|                        |  |
|------------------------|--|
| <p>事業総括<br/>(自己評価)</p> | <p>(当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など)</p> <p>1 達成度</p> <p>和風つくり指導者実技講習会 自己評価 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 15 名のところ 23 名が応募、18 名の指導者が誕生</li> </ul> <p>和風つくり実技講習では各自が積極的に技術習得に取り組んだ結果、18 名の指導者が誕生した。体験教室では堂々と自信に満ちた態度で指導していた。18 名の指導者誕生は今後の展望に明るい材料。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員による会場前の施設の養生、作業終了後の現状復帰作業等は自発的に行われ出来栄も見事であった。(素晴らしい人材集団である)</li> </ul> <p>体験教室 自己評価 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定した定員を上回る参加者があった。</li> <li>・子供、保護者、指導者が一体となって作業をすすめ、参加者全員が和風を見事に完成させた。</li> </ul> <p>風揚げ大会 自己評価 100%</p> <p>子供、保護者、指導者など 73 名以上の関係者が校庭に会し、手作りの傑作を持ち寄り、風揚げに興じた。風の出来栄は、すべての風がバランス良くベストに近く、もう少し風があればと惜まれる。</p> <p>2 効果、反応、印象に残ったことなど</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 近隣町会から会館提供など積極的な支援があった。</li> <li>② 子供会の全面協力があった。</li> <li>③ 風揚げ会場での学校長や教頭の子供への声援、指導者への謝意表明がされた。</li> <li>④ 作業終了後、子供、保護者から随所で「楽しかった」と共に「有難うございました」「お世話になりました」の声が聞こえた。</li> </ol> <p>最後に、事業推進にあたって藤原係長、青柳職員を始め地域振興課の皆様適切なアドバイス、協力があつた事を付記し、感謝申し上げます。</p> |
|------------------------|--|

## 2 決算内訳

### (1) 収入

| 項目  | 決算額 (円) | 内訳    |
|-----|---------|-------|
| 委託料 | 209,000 | 実施委託料 |
|     |         |       |
| 合 計 | 209,000 |       |

### (2) 支出

| 項目          | 決算額 (円) | 内訳  |
|-------------|---------|---|
| 謝礼金等        | 40,000  | 指導者実技講習会講師謝礼金 20,000 円 (1 日) × 2 日間   |
| 旅費・交通費      | 29,580  | 講師打ち合わせ場所への交通費 (鶴見) 2,760 円<br>指導者の派遣先会場等及び買出しへの交通費 26,820 円  |
| 消耗品費        | 116,925 | 手漉き和紙 50 枚 13,500 円<br>真竹等竹材、竹ヒゴ等 17,643 円<br>凧糸 9,720 円<br>木工ボンド、手割ナタ、竹鋸、ニッパ、カッターナイフ<br>オイルパステル、講習用教材、他 76,062 円 |
| 印刷製本費       | 4,657   | 凧原画印刷代 3,520 円<br>三町内会の掲示板用ポスター、チラシ等 1,137 円  |
| 通信運搬費       | 11,030  | 応募者、派遣指導者等への連絡用ハガキ、切手代<br>購入資材の運搬費  |
| 使用料・<br>賃借料 |         |   |
| 保険料         | 6,808   | イベント (和凧づくり体験会・凧揚げ大会) 保険<br>32 円 × 206 名分 + 手数料 216 円   |
| その他         |         |   |
| 合 計         | 209,000 |   |

※項目が多い場合は行を増やすか、別の用紙 (様式自由) に記載してください。

平成28年度麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

|     |                          |
|-----|--------------------------|
| 団体名 | (新万福寺町内会)                |
| 事業名 | (伝承遊びで街おこし～和風つくりと凧揚げ大会～) |

| 視点        | 項目   | 判断  | 判断の主な理由  |
|-----------|--|---|--|
| 事業の成果について | 事業目的は達成できましたか                                    | ①. 十分達成できた<br>2. ほぼ達成できた<br>3. あまり達成できなかった<br>4. 達成できなかった                     | 子供と保護者、高齢者（指導者）の交流の機会となり、地域小学校の協力を受け、地域基盤の強化につながった。  |
|           | 事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか                           | ①. 十分満足していた<br>2. ほぼ満足していた<br>3. あまり満足していなかった<br>4. 満足していなかった                 | 想定していた定員を上回る参加者があり、終了後「楽しかった」「ありがとうございました」の声が多く聞かれた。 |
|           | 事業の経費は適正でしたか                                     | ①. 大きな過不足なく適正に執行された<br>2. 見込みよりはるかに少なかった<br>3. 見込みよりはるかに多かった                  | 定員以上の参加者を受け入れたため、一部科目に不足が生じたが、区と協議して科目間で調整した。        |
|           | 実施過程で問題は発生しましたか                                  | ①. 問題は発生しなかった<br>2. 問題が発生したが適切に解決できた<br>3. 問題が発生し、解決できなかった                    | 計画どおり実施し、特に問題は発生しなかった。                               |
|           | 協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか            | ①. 十分効果があった<br>2. まあまあ効果があった<br>3. あまり効果がなかった<br>4. 効果がなかった                   | 市政だより、町連だより、タウン誌を活用した広報や、会場確保など区との協働を活かしたメリットがあった。   |
| 協働の手法について | 事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか                      | ①. 十分に行った<br>2. まあまあ行った<br>3. あまり行わなかった<br>4. 行わなかった                          | 随時区役所に足を運んで対面で打ち合わせを行い、協議を十分に行いながら進めた。               |
|           | 協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか                         | ①. 対等な関係になっていた<br>2. まあまあ対等な関係になっていた<br>3. あまり対等な関係でなかった<br>4. 明らかに対等な関係でなかった | 対等な関係となっており、随時話し合いながら事業を進めた。                         |
|           | 行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか                       | ①. 明確かつ適切に設定できた<br>2. 明確だったが、適切でなかった<br>3. 不明確だった                             | お互いのノウハウを活かせるよう、適切に役割分担が出来ていた。                       |
|           | 事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか                      | ①. 十分確保できた<br>2. まあまあ確保できた<br>3. あまり確保できなかった<br>4. 確保できなかった                   | 事業内容は広くPRしており、中間報告、結果報告を区の確認を受けながら適切に行った。            |
| 今後の課題     | 町内会・自治会の基盤強化には、自然発生的に交流・親睦が醸成される事業を開発することが必要である。 |   |  |

平成29年3月1日

## 事業結果報告書

（あて先）川崎市麻生区長

|     |                       |
|-----|-----------------------|
| 団体名 | 白山1丁目・ちょっと支援隊（略称、支援隊） |
|-----|-----------------------|

## 1 事業結果

|      |   |          |
|------|---|----------|
| 事業名  | 高齢団地の“支え合い”立ち上げ事業   |          |
| 実施時期 | 平成28年5月1日 ～ 平成29年3月10日  |          |
| 事業費  | 予算額   | 29万円     |
|      | 決算額   | 29万2093円 |
| 実施結果 | <p>（具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など）</p> <p>①さつき街区集会所での講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月12日 堀田力・さわやか福祉財団会長（出席者70人）</li> <li>・7月10日 辻哲夫・東大特任教授 元厚労事務次官（61人）</li> <li>・10月9日 新田圀夫・医師 全国在支診連絡会会長（59人）</li> <li>・1月29日 水谷忠由・厚労省前認知症施策推進室長（62人）</li> </ul> <p>②先進地視察（参加8人＝麻生区職員を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月3日 慶応大学終末医療シンポジウム（3人参加）</li> <li>・10月29日 川崎市宮前区のボランティアグループ「すずの会」</li> </ul> <p>③成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4回の講演会後のアンケート調査で、良かったとする人が8～9割に達し、参加者に“支え合い”の大切さが理解された事。</li> <li>・さつき街区で、“支え合い”活動の大切さが認識され、29年度スタートできる運びとなった事。</li> <li>・講演毎に出席者のアンケート結果をまとめ、その都度反省会の機会を活用して、改善点などを次の講演会に生かした。また、各講演会のDVD等を作成し、区に提供し一般区民向けに貸出した。</li> </ul> <p>④支援隊・有志ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総勢14人 4月から活動開始</li> </ul> <p>⑤その他、マンション管理組合とも連携し、講演会のない月は、住民交流イベントなどの活動を実施した。（盆踊り大会、餅つき大会、折り紙教室など）</p> |          |

|                        |   |
|------------------------|---|
| <p>事業総括<br/>(自己評価)</p> | <p>(当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として事業計画に盛り込んだことは全て達成した。</li> <li>・特に講演活動を通じて、支援隊の取り組みを評価する声が多数寄せられ、住民の“支え合い”活動が必要だとする声が9割を超えた。支援隊ではこうした声を背景にゆるやかな勧誘活動を進め、これまで約10人ほどだった支援隊メンバーは20人を超えた。</li> <li>・さらに加入者が増えた支援隊有志で、介護保険など公的サービス以外のボランティア型生活支援を行う部隊を組織、運営のイメージを共有し、5月から実施する態勢を整えた。</li> <li>・マンション管理組合の支援隊に対する理解が深まり、特に管理組合が管理する集会所について、支援隊の優先使用を認める覚え書きを交わすことができ、当初めざした単年ごとに役員が入れ替わる管理組合と、恒常的組織である支援隊の連携が展望できるようになった。</li> <li>・講演活動の全体を収録したDVDは、さつき街区の区民向けに貸し出し出来るようにしたほか、麻生区役所地域みまもり支援センターを通じて、広く区民が視聴できるようにした。</li> </ul> |
|------------------------|---|

## 2 決算内訳

### (1) 収入

| 項目  | 決算額 (円) | 内訳 |
|-----|---------|----|
| 委託料 | 290,000 |    |
|     |         |    |
| 合計  | 290,000 |    |

### (2) 支出

| 項目      | 決算額 (円) | 内訳  |
|---------|---------|---|
| 謝礼金等    | 204,000 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師謝礼 @ 30,000円×4名 = 120,000円</li> <li>・ビデオ制作謝礼 80,000円</li> <li>・“すずの家”視察謝礼 4,000円</li> </ul>     |
| 旅費・交通費  | 11,940  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム参加@ 1,320円×3名 = 3,960円</li> <li>・すずの家視察 @ 1,140円×7名 = 7,980円</li> </ul>                     |
| 消耗品費    | 8,373   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・靴入れ用ポリ袋 972円 ・講師飲料 160円</li> <li>・アンケート用鉛筆 1,539円</li> <li>・プリンターインク代 5,702円</li> </ul>           |
| 印刷製本費   | 56,580  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー代 (講演会チラシ・全戸配布) 8,755円</li> <li>・コピー代 (講演会資料・参加者配布) 47,825円</li> </ul>                         |
| 通信運搬費   | 200     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・収入印紙代 (区役所提出書類)</li> </ul>  |
| 使用料・賃借料 | 0       |   |
| 保険料     | 0       |   |
| その他     | 11,000  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療シンポジウム参加費<br/>@ 3,000円×3名 = 9,000円</li> <li>・書籍代 (“すずの家”発行)<br/>@ 1,000円×2冊 = 2,000円</li> </ul> |
| 合計      | 292,093 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算を超えた金額 2,093円は<br/>団体資金より支払済み</li> </ul>  |

※項目が多い場合は行を増やすか、別の用紙 (様式自由) に記載してください。

平成28年度麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

|     |                       |
|-----|-----------------------|
| 団体名 | ( 白山1丁目・ちょっと支援隊 )     |
| 事業名 | ( 高齢団地の“支え合い”立ち上げ事業 ) |

| 視点        | 項目                                    | 判断  | 判断の主な理由   |
|-----------|---------------------------------------|---|---|
| 事業の成果について | 事業目的は達成できましたか                         | ①. 十分達成できた<br>2. ほぼ達成できた<br>3. あまり達成できなかった<br>4. 達成できなかった                     | 講演会や先進地域の視察など全てを実施。支援隊メンバーも倍増し、ボランティア型生活支援に向けたメンバーの確保、体制を整えた。         |
|           | 事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか                | ①. 十分満足していた<br>2. ほぼ満足していた<br>3. あまり満足していなかった<br>4. 満足していなかった                 | 4回の講演会の後、アンケート調査を実施し、良かったとする人は8~9割に達した。イベント等を通じて住民の支え合いに関する意識を高められた。  |
|           | 事業の経費は適正でしたか                          | ①. 大きな過不足なく適正に執行された<br>2. 見込みよりはるかに少なかった<br>3. 見込みよりはるかに多かった                  | 全体として予算額のほぼ範囲内で賄う。DVD制作費や印刷製本費は予算を上回り、他の費用から回した。                      |
|           | 実施過程で問題は発生しましたか                       | ①. 問題は発生しなかった<br>2. 問題が発生したが適切に解決できた<br>3. 問題が発生し、解決できなかった                    | 他の地域からの参加も多く、街区の集会所で収容できるか危惧されたが、何とか間に合った。                            |
|           | 協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか | ①. 十分効果があった<br>2. まあまあ効果があった<br>3. あまり効果がなかった<br>4. 効果がなかった                   | 単独では活動資金が得られず事業を進められなかった。麻生区の地域みまもり支援センターの応援が得られた。                    |
| 協働の手法について | 事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか           | ①. 十分に行った<br>2. まあまあ行った<br>3. あまり行わなかった<br>4. 行わなかった                          | 担当課に反省会、打合せに参加してもらい、ボランティア・担当職員含めて意見を出し合い、今後の方向性を決めた。また、視察先の手配もして頂いた。 |
|           | 協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか              | ①. 対等な関係になっていた<br>2. まあまあ対等な関係になっていた<br>3. あまり対等な関係でなかった<br>4. 明らかに対等な関係でなかった | 団体と担当課で密に情報共有しながら進められた。特に協定書の内容が問題になることは1度もなかった。                      |
|           | 行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか            | ①. 明確かつ適切に設定できた<br>2. 明確だったが、適切でなかった<br>3. 不明確だった                             | 年度当初に協定書の内容を共有し、行政と団体の役割分担を確認し、適切に実施した。                               |
|           | 事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか           | ①. 十分確保できた<br>2. まあまあ確保できた<br>3. あまり確保できなかった<br>4. 確保できなかった                   | 今後の事業をグリーントウン全体に広げることを意識し、開かれた運営を心がけ、多くの参加者が来訪した。                     |

今後の課題

- ・支援隊のボランティア活動を軌道に乗せること。(支援者及び援助を希望する人の掘り起こし)
- ・コミュニティカフェ“さつき会”発足、第一回健康度チェックなど新規事業の立ち上げ
- ・主要事業である講演会活動に40～50歳代の参加を図ること。
- ・パソコン、プロジェクター、カフェ活動の什器類など 活動のため必要な備品を備えること。